

路線名	都道府県	対象区間	1. 整備の必要性	2. 整備手法の考え方
北関東道	群馬県	伊勢崎～岩舟JCT	<p>北関東自動車道は、北関東3県の主要都市と、国際交流港湾常陸那珂港を連結することにより、東京圏に一極集中している物流体系を再編すると共に、北関東各都市の連携・交流を強化し、東京圏から自立した地方都市圏を形成するための大動脈として、極めて重要な基幹道路である。また、関越、常磐、東北縦貫自動車道と一体となり、更に上信越中部横断自動車道と大環状連携軸を構築することにより、西日本との連携と交流を促進し、多軸型、多極分散型国土形成を達成する上でも、大きく貢献する国家プロジェクトである。現在、部分的な開通という非効率な状態であるが、全線開通による経済効果は北関東3県のみならず、首都圏にも大きな効果をもたらすものであり、一刻も早い開通が必要である。</p>	<p>本県としては、国の責任による北関東自動車道の建設、及び早期全線開通を基本方針としている。従って、「公団あるいは新組織による有料道路方式」により早期に整備されたい。</p>
	栃木県	伊勢崎～岩舟JCT	<p>「整備を進める必要が有る」</p> <p>《理由》 北関東自動車道は、下記理由により全線完成に向けた早急な整備が必要である。 1. 関越道、東北道、常磐道と一体となり、高速道路ネットワークを構築 2. 国際流通港湾「常陸那珂港」と直結し、新たな物流体系を構築 3. 北関東自動車道沿線地域が広域連携物流特区に認定（H15.11.21） 4. 北関東三県の連携・交流を強化し、自立した地方都市圏を形成 5. 首都圏への交通集中の是正や環境改善に寄与 6. 採算性を含め総合的な評価が高い路線 7. 災害時の緊急輸送路として活用 8. IC周辺における拠点整備やアクセス道路整備の進展 9. 医療機関へのアクセス向上による救急医療網の拡大 10. 部分開通でも、相当な交通量があり、地域経済の発展に多大な効果を発揮</p>	<p>「公団あるいは新組織による有料道路方式」</p> <p>《理由》 1. 有料道路方式が最も整備速度が速いと考えられること （高速道路の整備は、国土政策の一環として、国が必要と認め国民に約束してきたものであり、本県においては、全線開通に合わせてインターへのアクセス道路の整備や、沿線における各種の開発プロジェクトが推進されていることから、現在のスピードを落とすことなく、一日も早い全線開通が望まれている。） 2. 北関東自動車道は採算性が比較的高く、首都圏において必要不可欠な高速道路ネットワークの一部を構成しているため、料金収入を財源とする有料道路方式に最も馴染むと考えられること</p>
		宇都宮上三川～友部	<p>「整備を進める必要が有る」</p> <p>《理由》 北関東自動車道は、下記理由により全線完成に向けた早急な整備が必要である。 1. 関越道、東北道、常磐道と一体となり、高速道路ネットワークを構築 2. 国際流通港湾「常陸那珂港」と直結し、新たな物流体系を構築 3. 北関東自動車道沿線地域が広域連携物流特区に認定（H15.11.21） 4. 北関東三県の連携・交流を強化し、自立した地方都市圏を形成 5. 首都圏への交通集中の是正や環境改善に寄与 6. 採算性を含め総合的な評価が高い路線 7. 災害時の緊急輸送路として活用 8. IC周辺における拠点整備やアクセス道路整備の進展 9. 医療機関へのアクセス向上による救急医療網の拡大 10. 部分開通でも、相当な交通量があり、地域経済の発展に多大な効果を発揮</p>	<p>「公団あるいは新組織による有料道路方式」</p> <p>《理由》 1. 有料道路方式が最も整備速度が速いと考えられること （高速道路の整備は、国土政策の一環として、国が必要と認め国民に約束してきたものであり、本県においては、全線開通に合わせてインターへのアクセス道路の整備や、沿線における各種の開発プロジェクトが推進されていることから、現在のスピードを落とすことなく、一日も早い全線開通が望まれている。） 2. 北関東自動車道は採算性が比較的高く、首都圏において必要不可欠な高速道路ネットワークの一部を構成しているため、料金収入を財源とする有料道路方式に最も馴染むと考えられること</p>
	茨城県	宇都宮上三川～友部	<p>「整備を進める必要がある」</p> <p>《理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路は、国土政策の根幹をなすものであり、特に当路線は、常磐道・東北道・関越道と連結し、さらには上信越道・中部横断道により関東大環状連携軸として広域ネットワーク化がされ、北関東地域はもとより、甲信越静地域に至る新たな経済文化圏の発展に寄与するものであること。 ・国際港湾常陸那珂港と北関東3県の主要都市を連結することにより、東京圏に一極集中している物流体系を再編すると共に、北関東主要都市と港をダイレクトに繋ぐ流通の根幹としての機能が図れること。 （H15.11.21広域連携物流特区認定） ・本県では、北関東自動車道を基軸に、常陸那珂開発地区等様々なプロジェクトが展開されており、整備が遅れることによる損失は計り知れないこと。 	<p>「<u>料金プール制を活用した有料道路方式</u>」による早期整備を望む。 （公団あるいは新組織）</p> <p>《理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常陸那珂港の整備も進み、取り扱い貨物量も急激に伸びており、東京圏に一極集中している物流の再編のためにも早期供用が望まれていること。 ・そのためには、料金プール制を活用した有料道路方式が最も整備速度が速いと考えられること。 ・前後の区間が供用されているため、当該区間が供用されれば、早期に、常陸那珂港と東北自動車道等とのネットワークが形成されること。